

2020/01/08

地域共創ラボ Stage.1 レポート

イノベーションの創出による「かせぐまちづくり」の実践をテーマに、地域共創ラボがスタート。これまでに前半の Stage.1 が終了。仕事・お金・リスク（災害）を切り口に、職種も肩書きも異なる総勢約 80 名の方々と共に地域の課題について活発に議論し合いました。1/17 から後半の Stage.2 がスタート。善光寺大勸進を舞台に、イノベーション創出に向けたビジネスをデザインします。



11/20

第1回 「地域と仕事」の未来

イノベーションが雇用を創出する、その土台には異なるタイプの仲間への尊重と安心して議論ができる場が必要不可欠。意識改革により地域からのイノベーション創出は十分可能。幅広い仲間と共にハイドリームの実現を目指すことの意義を確認しました。



12/02

第2回 「地域とお金」の未来

レゴを使った街づくりを体験。過度な自社の利益追求が街の崩壊を招きます。貨幣の本来の意味は借りを作ることであり、感謝で返すこと。社会の一員として街の再生を考えると、自発的に協力の精神が生まれ、街は見違えるほどに再生しました。



12/20

第3回 「地域とリスク（災害）」の未来

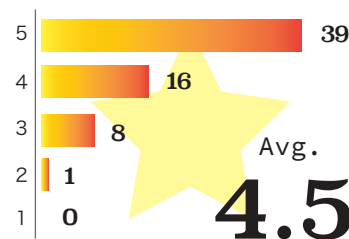
危機へ対峙する姿勢、危機の管理を体系的に学習。自分自身を客観視した上で危機対処の戦略、戦術、戦技を明確にすることで、危機が起きた際に冷静に対処することができます。地方創生も実は、東京一極集中という日本の危機への戦略なのです。

Stage.1 の詳細は NICOLLAP の Web サイト (<https://nicollap.jp/>) で紹介しています

参加者内訳



満足度



参加者の声

自治体 地域を変える点における難しさ、ポイントがわかりやすく、非常に勉強になった

事業者 お金を稼ぐことは面白いが、その結果社会が良くならなければ後味が良くない

金融 戦略・戦術・戦技に関する考え方を、自分の仕事にも実践していきたい。

有効なデータを元にした Stage.1 全3回の集計値になります。詳細のデータが必要な場合は個別にお問い合わせください。

Stage.2 に向けて

第1回の「善光寺ブートキャンプ」では、デジタルビジネス・イノベーションセンター（DBIC）が提供している「イノベーター育成プログラム」をベースに、経営者（経営幹部）・起業家などビジネスを通じて、SDGs に代表される社会課題解決に取り組むリーダーに求められる“イノベーションのためのマインドセット”を徹底的に創り上げます。その後の連続プログラムでは、行政、民間事業者、金融機関、寺院関係者など、さまざまなプレイヤーを連動させて新たなビジネスをデザインし、2020年3月に長野県内外の参加者を集めた成果発表会・シンポジウムを開催します。

Stage.2 プログラム・日程

- 第1回【1/17・18】
善光寺ブートキャンプ
- 第2回【1/28】
アイデアソン
- 第3回【2/11】
ハッカソン
- 第4回【2/25】
マーケソン
- 第5回【3/10】
成果発表会・シンポジウム



※会場：第1回、第5回は善光寺大勸進、第2-4回はシソーラス（株）DX center